

議長	局長	局長補佐	係長	回議	主査
					

北栄町議会議員 井上 信一郎 様

北栄町議会議員 浜本武代



平成27年北栄町議会議員研修報告書

1. 日時	平成27年10月27日～29日 2泊3日
2. 調査地	鳥取県八頭町 大阪府柏原市 大阪府泉南市 京都府綾部市 兵庫県香美町
3. 調査内容	<p>①・6次産業化の取り組みについて (直営カフェ・通信販売)</p> <p>②・6次産業化の取り組みについて (ワイナリー・地域協働によるぶどう栽培)</p> <p>③・6次産業化の取り組みについて (障がい者雇用の促進にむけた農福連携の取り組み)</p> <p>④・水源の里事業の取り組みについて (限界集落の維持・再生に向けた取り組み)</p> <p>⑤・ふるさと教育の推進について (学校・地域における取り組み)</p>
4. 調査結果 又は概要	<p>① (有) 川島カンパニー(大江ノ郷自営牧場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年代表の原利一郎 鶏2000羽と鶏卵の生産を創業(現在3万5千羽、100人雇用) ・高品質な卵の生産 「平飼い、飼料、栄養、鮮度、安全」に注力、即日発送、刺、大阪等へ全国へ8人へ通信販売。 ・平成20年、自力で「ユウガーデン」を整備し、規格卵の有効利用にて、スイーツに加工し、販売。 ・平成25年、補助と活用し、リニエールオープン、年間10万羽の生産。 ・当初より、地域との共生を理念とし、今後地元生産者へ連携し、地域の活性化に取り組む。 「大江ノ郷」を観光地化し、農業、テマパークとして「日本一笑顔」の集約牧場に向けて取り組む。 <p>② (株) カタシモワイナリー (信者がれば、後継者は生かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和52年、高井利洋26才、4代目社長(証海がウヰン醸造) ・日本一のぶどう産地から畑の風景を取戻したい ・急増する耕作放棄地の解消に、地域協働で大地を管理し、ぶどう栽培を拡大し、地域が活性化している。 ・合名会社で雑木で覆われているが、今後5年間は、ぶどう <p>山に度々目標を掲げ、その達成に向けて努力されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウヰンぶどうの生産、加工、地域畜産型バネ、カタシモワイナリー、畑、市場、町歩き見学コース等の事業で地域活性化している。

<p>4. 調査結果 又は概要</p>	<p>③ (株)ハートランド (医福会農連携等と新分野の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年12月会社設立(平成20年3月 コクヨ(株)の特例子会社) ・自社及び協力農場で積極的に障がい者を活用し雇用に努むこと等と、 ・仕事をすそ野を広げ、農業に着目し、ササガ(おれん草)及び葉菜類の水耕栽培を開始し、大手スーパーや百貨店等と販路。 ・ハルニエが野菜スープ等加工品も販売。 ・障がい者のそのまじ水の特性をいかに働かやすく、効率も上げるための努力(最後でボートも支給) 8年勤務のハタチン取戻し。 ・経営の赤字分は、本社の補てんと対応の(社会への寄与) <p>④ 水源の里(限界集落)の維持、再生に向けた取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月 水源の里を考之会を設置。 ・平成19年4月 水源の里条例施行(5年間の5年限条例) ・モデル地区5集落を対象に振興策を展開 ・「上流は下流を思い下流は上流に感謝する」前綾部市長 ・最後の地へス→明治以来、行政が山中の集落に目を向け、 ・1年間、毎月集会以「話し合い」廢材にしたい ・「親得ていなく、納得」で自らやる。 ・古屋には、樹齢50年か100年の橋の木巨木が7、4本 ・先祖が残してくれた財産、橋の加工品を1年間試作 ・「古屋でばんぼう会」平成20年2月立ち上げ ・年毎で合巻制のボランティア(昨年600人) ・古屋(現在)5軒6人(男1人女5人 85才~91才) ・地域商いの原典 ・「人は皆の為に、皆は1人たりと」
<p>5. 所感</p>	<p>⑤ ふるさと教育</p> <p>—ふるさとに学ぶ、夢や志を抱き、ふるさとを大切に育む(つくり)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、自然・資源・人・総てを大切に、体たがって育み人たがいをする。 ・香美町(人口19,462人 6701戸)1427.人1現在、この町に ・小学校 10校(児童数 864人) > 今後5年間は統廃合計画 ・中学校 4校(生徒数 509人) ・少人数は良いであり、メリットではない。(月回合同授業実施) ・多様な地域を教育の場に、やりにがらんで実施。 ・地域の方々が愛情と持ち支え、育て(行政・学校・地域の信頼関係) ・(ふるさとものしり+専士60人、ふるさと教育応援団700人) ・毎年1回、香美のふるさと教育交流会開催、 ・(青少年育成町民集会・子供たちふるさと学習体験発表会・PTCAフォーラム)

提出日 平成27年11月9日

→ 学ぶ所が大変多く、北栗町のまちづくりのとりよりに取り入れるか、今後の取り組みが重要と思う。